

I C T教育について

～ G I G A スクール構想開始の状況と課題～

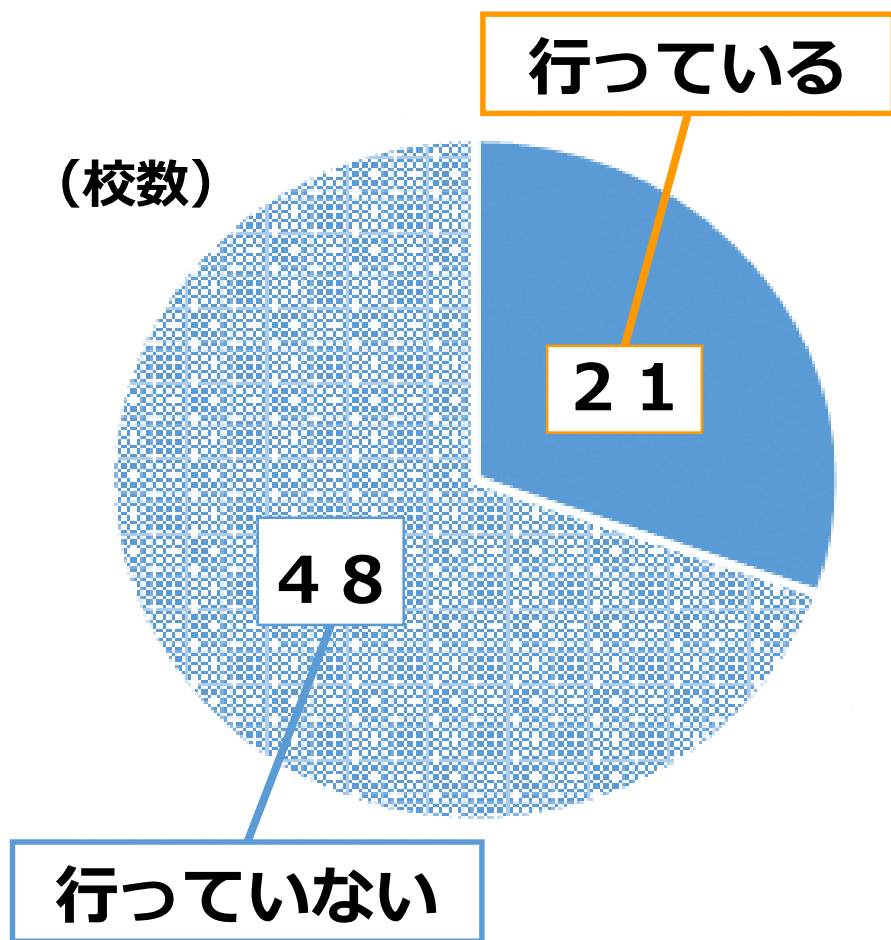
1 本市の小・中学校の状況（5月末時点）

（1）オンラインを利用した学習の支援状況に関する調査結果

- ・ 高松市立小・中学校69校を対象

	活用できている (校数)	活用できていない (校数)
A I 型ドリル 「すらら」	6 1	8
学習支援ツール 「SKYMENU Cloud」	3 4	3 5
ビデオ会議システム 「Zoom」	3 9	3 0

(2) ビデオ会議システムを利用した学校と家庭をつないだ支援



(3) 学校と家庭をつないだ高松型のオンライン学習の試行



「Zoom」で、学級の一人一人とつないだ画面

「SKYMENU Cloud」で、3人の回答を提示した画面

【子どもたちの感想】

- ・普通の授業とは違う、ワクワク感があって、とても新鮮だった。
- ・いつもマスクをしているから目しか見えてなかったけど、オンライン学習をするとみんなの顔が見られるので楽しかった。
- ・家で、気楽にできたので楽しかった。

(4) 教員のICT活用能力向上を図る研修

「放課後 ちょいスクール (Choice, Cool!)」を活用

- 学校や校種を超えて学び合う機会の創出
- 放課後の短時間
 - ・ 16時から30分間
 - ・ ビデオ会議システムを利用
 - ・ 毎月2回程度
 - ・ ICT研修以外も実施
 - ・ 参加自由
 - ・ 校内研修でも利用可能



2 見えてきた課題

- 一斉に利用した場合の「つながらない」状況
- 教員のICT活用スキルの向上
- 教員をサポートする体制
- 端末の保守対応
- さらなる活用方策

3 学校からの声

- 高松市立十河小学校 宮脇 充広 校長
- 高松市立古高松中学校 淀谷 圭二 校長